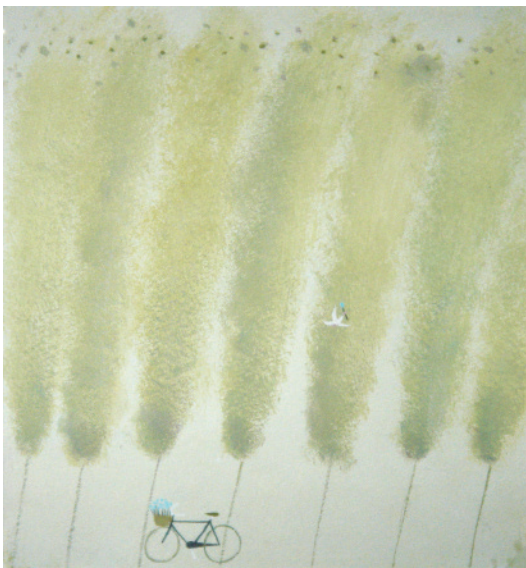




絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通し考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。
あなたはどんな空間を感じますか……

●『旅の絵本』という本に掲載された作品です。



・この作品は何という題名でしょうか。

・あなたが別の題名をつけたら？

・この絵をみて、短いお話をかいてみましょう。
(*絵の中の物語を考えると、作品の中で発見があるかもしれません…)

●この絵はある本の表紙絵につかわれました。

・なんという本でしょうか。

・この本で「こどもの権利条約」の大切な4つをあげています。それはなんですか。

- ①
- ②
- ③
- ④



* 葉祥明さんは社会問題をテーマにたくさんの絵本を描いています。子どもたちの未来の為に大人たちは考え、子ども自身にも知ってもらいたいことです。この先の自分たちの行動を考えるきっかけに、葉祥明さんの絵本がなれば良いなと思います。

- 1978年に雑誌『いちごえほん』5月号に掲載された作品「星の王子さまがもどってきた」です。



- ・サン=テグジュペリの『星の王子さま』が大好きな葉祥明さん。上図の作品以外にも『星の王子さま』の絵をいくつも描いています。原作に沿った絵から、イメージーションをふくらませた絵まで。あなたが好きな『星の王子さま』の場面はどこですか？

- ・「星の王子さまがもどってきた」は、サン=テグジュペリの『星の王子さま』を受け、葉祥明独自の目線で描いたお話です。絵描きである主人公と星の王子さまとの会話の中で、星の王子さまは「簡単なこと」と言うけれど、絵描きがなかなか描けなかったのは何でしょうか。

- ・このお話は1978年に雑誌に掲載された後、1981年の文芸誌『詩とメルヘン』の増刊号「葉祥明の世界」にも掲載されました。原作への愛情溢れる、優しい作品です。挿絵は全4枚と少ないながら、その完成度の高さから、壮大な物語を読んだように感じます。葉祥明は「星の王子さま」以外にも名作童話などの絵を描いています。「赤毛のアン」や「ピーターパンとウェンディ」などです。あなたは他に、葉祥明さんのどのような名作シリーズをみてみたいですか？

*まわりの人と話してみましよう。違う意見を聞くと、新しい発見が見つかるかも！